

画家

シュウゴアーツ代表

小林正人＋佐谷周吾

「絵画」への純粋な愛。

創作の源泉と市場を動かす

画のフレームと外の世界のフレーム！



Courtesy of ShugoArts, Photo by Shizuka Kobayashi



Courtesy of ShugoArts, Photo by Shigeo Muto

V
vol. 5

● 小林正人 [こばやし・まさと] (左)

1957年東京生まれ。1997年ヤン・フォート氏に招かれ渡欧、以降ベルギー・アントワープを拠点に各地で現地制作を行う。2006年に帰国後、現在まで福山市・鞆の浦のアトリエで制作。2017-2023年東京藝術大学教授。カンヴァスを片手で支えながら擦り込むようにして色を載せ、同時に木枠に張りながら絵画を立ち上げていく手法で、独自のフレームと光をもつ絵画を生み出し続けている。1996年サンパウロビエンナーレ日本代表。S.M.A.K (アントワープ、2001)、宮城県美術館 (宮城、2000) などで個展開催。主な著作に作品集『MK』(HeHe、2024)、自伝小説『この星の絵の具』(アートダイバー、2018、2020) がある。

● 佐谷周吾 [さたに・しゅうご] (右)

1958年生まれ。1981年慶應義塾大学法学部政治学科卒業。会社勤務を経て1984年に父・佐谷和彦が運営する佐谷画廊に加わる。2000年に独立し現代美術ギャラリー「シュウゴアーツ」を設立。2016年に六本木のギャラリービル「complex 665」に移転。東京を拠点とするギャラリーとして、小林正人を始めとする、美術史に根ざしながらも独自の手法を獲得し、現代における新たな表現の可能性を切り拓くアーティスト達を国内外に紹介している。 <https://shugoarts.com/>

2025年 **11月27日^木** 17:50-19:20**東京藝術大学中央棟第1講義室****全学科学生対象** **アートプロジェクト演習履修者** **参加必須**

主催＝芸術未来研究場 | アート×ビジネス領域

要予約 (QRコードのリンク先にある予約フォームにてご登録ください)